

## “学校の日と教育環境の維持”

園長 高杉 洋史



地島でみつけたスマシ

地島小学校の内田校長先生とは船から降りて小学校までの上り坂で教育に関する話をします。玄海東小学校の脇田校長先生は七時三十分から小一時間、学校前の信号機のところまで子どもたちの登校を見守っていらつしやるので、時々手伝いがてら話します。宗像市の小中学校は毎月十日が学校の日で、保護者はもちろん教育に関心のある方は誰でも参観できる日です。校長先生方からのお誘いを受けて、私もできるだけ出かけるようにしました。特に一年生は喜んでくれます。授業の邪魔にならないように静かに参観しているつもりなのですが、子どもたちが手を振ってくれるとつい反応してしまいます。一年生の皆さんはなかなか積極的に勉強に励んでいます。幼稚園の時間の流れから小学校の時間の流れにうまく適応してくれ、安心とともに幼稚園の教育を振り返って改善するところはないかと思いを巡らしています。学校の日には顔見知りの保護者の方とも会えるので、幼稚園時代の教育についての感想などもお聞きできたらいいなと思っています。

幼稚園ではキラキラ委員会、絵本委員会をはじめ各委員会活動のご協力ありがとうございます。こうして幼稚園にお出かけいただくと子どもたちの日ごろの様子もご覧いただくことができ、特に友達同士の育ちは見えていて興味深いものです。追いかけてたり追いかけられたり、組つほぐれつ遊び、ヒーローごっこには少しひやひやするときもあり、その反面思いやり深い行動を見つれたりすることもあります。担任から手を怪我した友だちを助けているクラスメイトの話を聞くと、幼児教育の仕事ができる幸せを感じます。

小学校も幼稚園も、保護者の皆様はじめ多くの方々に見守っていただくことで育っていきます。実際に足を運んでいただき、子どもたちの育ちを実感していただき、教諭や園長と一言二言でも言葉を交わしていただくことの積み重ねが、教育環境の向上につながります。子育てラウンジに行く階段の下のできで小さな海の魚(メジナ)を飼っています。魚の健康を維持するためには二週間に一回は適当な量の水かえが必要です。いくら濾過機が動いていても、少しずつ水質が低下します。幼稚園はなおのこと子どものために、環境維持、改善に気を使わないといけないと思っています。その原動力は保護者の皆様のまなざしです。子どもたちにも先生にも温かなまなざしをくださいますようお願いいたします。

昨日(十二月十三日)、地島でスマシがたくさん咲いているところを見つきました。一足先に春に出会った気分です。

